少女 ソフィーの話

君たちの説得が成功すると、少女は取り乱しながら、感情に流されるまま話はじめる。
辛抱強く話しを聞いた結果を要約すると、下記のような内容である。

・少女の名前はソフィー、粉引き屋の娘である。

・あるときからどこからとも無く聞こえてくる『声』に悩まされていた。

・声のことを両親に相談したが、悪い噂になることを嫌った両親に黙っているように言われた。

・その後これまで聞こえたのとは別の『ラスティエル』と名乗る声が、「自分のとこに来れば助けられ
というのが聞こえた。

・ラスティエルはこの町ができる前に**粉引き所の地下**に埋められてしまったという。

・声に従い、粉引き所 の床を掘ると**不思議な光る絵**があった。

・そのまま掘り続けると光は消え、**ラスティエルのいる洞窟**を掘り当てた。

・ラスティエルを助けるため洞窟に入ると、そこにいたのは**恐ろしい怪物**だった。

・**その姿は、歯と鈎爪を持って、黒い火をまとい、頭は虫のようだった。**

・怪物達は穴からあふれ出し、**町の人々をつかまえて粉引き所の地下へ**戻ろうとした。

・暴れる怪物達の目をのがれ隠れて、ソフィーだけは難を逃れた。

いる」